



第6回 上尾市かわまちづくり協議会

会 議 録

日 時 令和7年1月17日（金） 午後1時55分から
場 所 平方支所 2階会議室

<p>午後 1 : 55～</p> <p>1. 開会</p>	<p>事務局より開会の挨拶、出席者の確認、資料の確認。</p> <p>作山会長より挨拶。</p> <p>作山会長に議長をお願いする。</p>
<p>午後 2 : 00～</p> <p>2. 議事録署名人の選出</p>	<p>本会議の会議録署名人は、石倉委員、安部委員の 2 名に、書記は事務局の岩城主任にお願いする。</p> <p>非公開事項の確認、傍聴人の有無の確認を行い、非公開事項は無し、本日の傍聴人は無しで会議を行った。</p>
<p>午後 2 : 01～</p> <p>3. 報告</p> <p>(1) (2)</p>	<p>(1) 第 5 回上尾市かわまちづくり協議会について、(2) 上尾市かわまちづくり社会実験「平方かわまちフェス」について、事務局より資料 1・2 を用いて、報告。</p>
<p>午後 2 : 14～</p> <p>4. 議題</p> <p>(1)</p>	<p>事務局より議題 (1) 今後の推進委員会について、資料 3 を説明。質疑応答に移る。</p>

<p>質問 1 委 員</p>	<p>いつ頃から来年度（令和 7 年度）の体制として動き始めるのか？</p>
<p>事務局</p>	<p>来年度の社会実験は、合計 2 回行う予定。1 回は、今回の社会実験と同様のハロウィーンイベントを 10 月頃に開催を検討し、残りは花火大会以外の利活用を考えるため、今年度（令和 6 年度）完成予定の低水護岸を使用し、夕涼みのようなイベントを 7 月又は 8 月頃に開催を検討している。イベント開催から逆算すると、なるべく早くかわまちづくり推進委員会を立ち上げ、補助金を活用し、活動していきたい。今後の予定は、かわまちづくり推進委員会を令和 7 年 4 月中旬～5 月頃に開催する予定。</p>
<p>議 長</p>	<p>他に質問等がないようなので、次に移らせていただきます。</p>
<p>午後 2 : 20～ 5. その他 (1)</p>	<p>事務局よりその他（1）令和 7 年度上尾市かわまちづくり社会実験について、資料 4 を説明。質疑応答に移る。</p>
<p>質問 1 委 員</p>	<p>改めて確認だが、来年度の社会実験は合計 2 回行うのか？</p>
<p>事務局</p>	<p>来年度の社会実験は、合計 2 回行う予定。様々なイベントを行い、どのような反応があるのか確認したい。ただ、今回行った社会実験のようなイベントは、毎年やっていきたいと考えている。</p>

委員	川関連の水辺を生かした社会実験はいいと思う。
質問2	
委員	<p>平方地区内のある方で、小規模ではあるが、マッサージやフリーマーケット、マルシェ等を開催している方がいる。話をした中で、ぜひ次回の社会実験に参加したいと言っていた。また、平方地区には障害者施設があり、社会実験に参加していただくことで平方地区全体が盛り上がると思う。市の考えをお聞きしたい。</p>
事務局	<p>地域の方や障害者施設にイベントに参加していただくことにより、相乗効果が見込めると考える。イベントを開催する際は、自治会等を通じ、参加依頼を行うなど検討したい。</p>
議長	<p>今回のような大規模イベントとは別に、小規模イベントを四半期や毎月など、地元が中心となり継続してイベントを行うことでプレイヤーなどの人材発見が出来たりする。イベントを繰り返し行えば、地区内に大きなネットワークが構築できると考える。</p>
事務局	<p>同じ日、週、月でイベントが被るなら、集約することを考える余地はあるが、四季などで定型的にイベントを開催すれば地域の賑わい創出に繋がると考えている。小規模イベントを数多く開催することも大事である。</p>

<p>質問 3</p> <p>委 員</p>	<p>平方連合会に所属しているが、環境フェスティバルは昨年 9 月下旬に行う予定だったが、雨で中止となった。今回の社会実験に参加したが、キッチンカー等の出店があり多くの方が来場していた。ただ、環境フェスティバルと重複する内容だったため、イベントを集約できないかと思う。4 月以降は、民間主体のイベント開催という話だが、民間企業の誰とは別にして、イベント同士を集約させるなどイベントの開催方法について改めて考える必要がある。ただし、環境フェスティバルは「環境」というテーマがあり、外せないテーマがある。また、環境フェスティバルは西貝塚環境センターで開催しているが、必ず西貝塚環境センターで開催しなければいけないというわけではない。そういったことを含めて、先日行われた平方連合会でもイベントの開催について話してはいるが、重複しているイベントについて、事務局の意見を聞きたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>かわまちのイベントは、堤防上部をどのように活用するか、活用していくためのプレイヤーを探すかという目的があり、たまたま環境フェスティバルとイベントの内容が重複したという認識である。環境フェスティバルと内容は重複してしまったが、目的が異なるイベントかと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>各イベントの目的が異なるのは十分理解している。ただ、今後はかわまちづくり推進委員会を民間団体にするという考えだと思うが、受け皿となる方やどういう人が構成メンバーで担い手になるのか、自治会の負担が大きくなってくると思う。</p>

事務局	<p>今後、かわまちづくり推進委員会は民間団体として活動する予定だが、最初は行政が中心となって活動していき、徐々に民間団体に移行する流れを考えている。地元の方が主体となり、地域でどう活動していくかを数年間の社会実験で探ることが重要であり、かわまちづくり推進委員会として、様々な方が参加しやすい環境を整える第一歩として、上尾市かわまちづくり協議会からかわまちづくり推進委員会に移行するのである。すぐに民間団体にするというわけではなく、少しずつ協議をしながら、進めていきたい。</p>
委員	<p>平方地区のかわまちに近い上宿地区は、高齢化や人口減少に悩まされている。求める人材がなかなか確保できないことが予想され、問題を抱えることが想定される。民間団体として地元を盛り上げる活動を行うことはいいが、様々な問題を考えてながら進めていただきたい。</p>
事務局	<p>先ほどの環境フェスティバルと一緒にイベントを企画するという件は少々難しいかもしれない。ただ、同日や同時にイベントを開催することは問題なく、相乗効果も期待できる。当初、社会実験を開催する日程として、環境フェスティバルと同日開催と考えていたが、環境フェスティバルの日程が変更となったため、別々の開催という経緯があったと認識している。堤防の上部が綺麗に整備された暁には、西貝塚環境センターとかわまちの対象地区の往来が可能となるため、同日や同時開催するのは積極的に取り入れるべきだと思う。</p> <p>また、事務局の説明で、地元にも丸投げと思ったかもしれないが、そうではなく、イベントを考えていくときに地元の方やそれ以外の民間企業の方、プレイヤーの方と協議をしながら、どのように賑わい創出を行っていくのかを検討していく組織と考えていただきたい。最終的</p>

<p>質問 4</p> <p>委 員</p> <p>会 長</p>	<p>な担い手として、例えば、全国的にかわまちづくり計画を登録した後、運営主体がどこか調べると、指定管理者制度を採用している市町村が多い。市としてのゴールを考えるなら、指定管理者制度を活用し、運用していければと思うが、その中にかわまちづくり推進委員会で、地元の方やプレイヤーの方が様々な知恵を出し合い、イベントを立案企画していくイメージで考えていただければと思う。</p> <p>新しい組織に移行する中で役割分担があるが、資金管理は、市が事務局として運営してくのか？</p> <p>その点に関しては、かわまちづくり推進委員会で議論する必要がある。また、かわまちづくり推進委員会という 1 つの体制で運営していくが、このようなまちづくりやエリアマネジメントは、少し複雑にした方がいいと考える。例えば、社会実験はやや行政的な課題が多く、行政側に傾き、大規模イベントの開催は花火大会や夏祭りのような実行委員方式で運営するなど工夫が必要である。また、小規模イベントは地元を中心に行い、行政とは切り離し、やりたいときにやることも想定される。行政が中心、地元が中心、全体でといった大きく 3 段階で考える必要も今後は出てくるのではないかと思う。その中で、指定管理者制度で一般社団法人や民間企業、NPO 法人といった運営を行いたい団体が生まれてくる可能性もあり、さいたま市であるサラリーマン 3 名が自分たちで一般社団法人会社を作り、イベントを企画運営している団体の例もあるため、平方地区でも同様な方が出てくれば、自分たちのライフスタイルの一環としてイベントを開催したいという方が出てくると一番いい。今回の社会実験の成果として、高校生のダンス部が出し物を行い、堤防上部で高校生のダンス部が練習できる代</p>
-----------------------------------	---

	<p>わりにトイレの掃除する仕掛けを考えていたが、その可能性も少し見えてきたと思う。ただし、トイレの清掃を行う代わりに、鏡の設置や風よけの設置などの要望があれば検討しないといけない。地元の企業やプレイヤーとなる方、例えば、地元のカフェやこども園を運営している方や地元の優良企業の方などの企画力がある方とうまく連携していければと思う。今回の社会実験は成功だったが、今後も水辺を使用する社会実験など、様々なことを実施する必要がある。今回の経験を生かし、実施できることから実施していきたいと思う。</p>
事務局	<p>事務局として、自分たちでイベントを開催するプレイヤーの方が生まれてくるのが理想である。また、堤防の上部利用をテーマに社会実験を開催しているが、延長上にある公共施設との連携や上宿地区の堤防整備に伴う移転を含め、整備完了まで数年くらいあり、人をどう集めるかを考えていくと、定期的にイベントを積み重ねていければメインストリートがうまく活性化していくと思う。事務局としても手探りで動いているが、残り 3～5 年間で様々なことを考えていく必要がある。会長の発言にもあったが、大小のイベントを上手く活かしていかなければならないと思う。</p>
会 長	<p>人口減の部分は政治的な課題ではある。ただ、平方地区は市街化区域が少なく、新規に開発できない箇所があるが、ポテンシャルが高い地区だと思う。やや郊外で街中にはない豊かな資源があり、中型・大型犬が飼える生活ができるなど、街中とは違う生活ができ、魅力的な地区であると思う。そういうことを憧れる方、特に若者は多くいるので、既存の建物を建て替え、そのようなニーズを取り込めるかもしれない。</p>

